



2024年11月10日
第74号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

イーハトーブ

11月10日

第50回衆議院議員総選挙（10月27日投開票）は、自民・公明両党が215議席に終わり、過半数割れした。選挙においては「改正政治資金規正法」や「政策活動費」、いわゆる「政治とカネ」の問題が大きく取り上げられ、争点となった。「党内野党」として囃された石破氏も、自民党総裁になるや、自民党内部の圧力に屈し、方針が二転三転することになった。その結果、衆議院選挙では多くの議席を失い、過半数を割ることになった。しかし、議席が減ったとはいえども第一党である。自民党のやりた放題の国政運営が変わるのかと言えはそうではない。常に多数派工作を行っている。選挙が終わった今、「政治とカネ」の問題以外にも「物価高の現状」「金融政策」「少子化対策」「憲法改正」など多くの課題が残っている。だからこそ政治に関心を持ち、真実を見抜く力を養わなければならない。

自民党候補者の街頭演説において「どうかわたしをお助けください」と絶叫していた候補者もいたが、圧倒的多くの労働者は賃金が30年横ばいの中、今の「物価上昇」などで貧困層も拡大し衣食住もままならない状況である。その中で防衛費の増税などで自民党はさらに労働者から搾取しようとしている。本当に助けてほしいのは私たち労働者である。私たちは平和で豊かに暮らす権利がある。

私たちと共に考え活動していく推薦議員等懇談会の議員も多くの方が当選した。共に活動し、意見交換をしながら働きやすい環境や生活しやすい世の中を目指していこう。

(Y・N)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。